

クマガイコウキ全仕事

第1弾

監督クマガイコウキの仕事

題字／いがらしみきお

クマおじさん

クマガイコウキをモデルにいがらしみきおが創作した、アニメ「ぼのぼの ポポくんの進化」に登場するキャラクターです。

ある時は詩人、ある時は映画監督、
またある時は紙芝居作家、
そしてある時はミュージシャン
しかして、その実体は？

クマガイコウキって何者？



© いがらしみきお / 竹書房・フジテレビ・エイケン

大感傷仮面

「大感傷仮面」
監督・脚本・音楽 1992

ぼのぼの
クモモの木のここと

「ぼのぼの／クモモの木のここと」
監督・脚本（共同）2002

ぼのぼのもやってくるよ！
写真撮影OKです！

2025

6/7 (土)

13:00-14:45 プログラム A
15:30-18:30 プログラム B

・8 (日)

10:00-12:30 プログラム C
13:30-16:00 プログラム D

せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町 2-1

入場無料 160席(全席自由／入替制)
開場は各プログラム 15分前

クマガイコウキ全仕事 とは

仙台が生んだ異能のマルチクリエイター・クマガイコウキ。漫画家いがらしみきおの片腕としてマネージメントに尽くしながら、自らも映画・アニメ・演劇・音楽・詩・紙芝居…と幅広いジャンルで創作を手がけ、仙台の文化活動を活気づけてきました。これは2023年に早逝した61歳の生涯で、彼が作り出した作品群の再演、再現、再創作を通じて、仙台という地で独自に醸成したサブカルチャー地図を立体的に再構成してみようという気の長いプロジェクトです。仲間募集中。

「クマガイコウキ全仕事」実行委員会 発起人：いがらしみきお（名誉会員）、熊谷真弓、菅原睦子、奈良純、すずき佳子

主催：「クマガイコウキ全仕事」実行委員会、(有)オフィス・コウキ
協力：(有)アイ・エム・オー、(株)竹書房、(株)エイケン、(株)デジタル・フロンティア
お問い合わせ：(有)オフィス・コウキ TEL：022-379-5264



クマガイコウキ

— プロフィール —



1961年生まれ。仙台市出身。1980年より8ミリ映画の自主制作を始める。以降、実写・アニメーション・演劇・紙芝居・詩作などジャンルにこだわらず活動続ける。1990年より漫画家いがらしみきおに師事。2003年有限会社オフィス・コウキ設立。2023年没 享年61歳。

〈主な作品〉

◎1992年 映画『大感傷仮面』（製作・配給／（有）アイ・エム・オー）の監督・脚本・音楽を担当。◎1993年 映画『ぼのぼの』（製作／ぼのぼの映画制作実行委員会）の演出協力を担当。◎2002年 映画『ぼのぼの／クモモの木のこと』（製作／（株）竹書房）の監督・脚本（共同）を担当。※文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦 ◎2004年 詩のボクシング全国大会（福岡）宮城県代表。◎2005年 TVアニメ『飛び出せ!ぐりりの大冒険』（製作／KHB東日本放送）の監督・脚本・音楽を担当。◎2006年 長編紙芝居『蛇蝎姫と慟鬼丸／仙台版』『同／浅草版』『同／横浜版』（制作／慟鬼丸プロジェクト）の作・演出を担当。

7(土)

プログラム A

13:00-14:45

『びあフィルムフェスティバル85』で入選した、仙台出身の2人の監督の記念碑的作品を一挙上映。

『吊首姦太郎の青春』1984/35分 監督：クマガイコウキ



私は高校1年生まで青森に住んでいた。白いブラウスの少女、依亜子との思い出。転校して久しぶりに、私は青森にやって来た。依亜子に電話する。「どうして私の事思い出したの」字幕による会話とステルと実写によって、私の切ない青春物語が綴られる。コマ伸ばし、特種フィルター等の実験的手法を随所に用いた瑞々しい映像と、抒情的な音楽が心地よく浸透していく。

『にっぽにーず・がーる』1984/59分 監督：常本琢招



彼ある日、たかおの元に赤紙が届き、は消息を絶つ。ガールフレンドの洋子と圭子は、彼を求めて探し回る。やがて、2人の男に拉致されている彼を見つけ、そこから彼女達と男達のあくなき追いかけっこが始まる。軽快な移動撮影の長回しの多用と、登場人物の得体の知れない寡黙な雰囲気、奇妙な味を醸し出している。

プログラム B

15:30-18:30

クマガイと共にPFF85に入選を果たし、その後も親交が続いた常本琢招監督の近作4編。



『何もない部屋』2023/27分

銀座のホステス（川添野愛）に惚れた男（木原勝利）が、別居中の妻と二鬼を追おうとしたが、結局振り回されて、自分で自分を壊してしまった、という話。



『みつかるまで』2002/45分 音楽：クマガイコウキ

高い理想を抱いて絵を描いてきた画家・芳美（板谷由夏）は挫折して自分を見失い、今は電車の中で盗みを働く日々を送っていた。そんな彼女の前に現れた謎の青年・哲史（水橋研二）。



『アナボウ』2021/20分

「アナボウ部」に青春を賭けているヒロイン・一子は、最近なぜかイライラしている。一子の親友、「みく」がまるでストーカーのような同級生の男子に付け回されていること。もうひとつは、一子の指導が厳しすぎるため、アナボウ部の生徒が一子を残して全員退部してしまったからだ。



『蜘蛛の国の女王』

2009撮影・2023再編集/53分 クマガイコウキ出演作品 気鋭の女性建築家・映子は、憧れだった先輩女性建築家・美子と再会した。今は職もなく生きている美子を、自分の事務所に雇う映子。そこから、美子の仕掛けた恐るべき罠が展開していく…

トークa 常本琢招(映画監督)×鈴木伸昌(のんき館スタッフ)

仙台で愛されていた映画情報誌「き〜の」(1976〜2004)は、クマガイと常本をつなぐ活動拠点でもあった。クマガイが俳優として出演したり音楽で協力していた2作を含む常本4作品の上演と、クマガイがその運営に長らく関わってきた古き良き日本映画の16ミリフィルム上映会「のんき館」にまつわる話など。



常本琢招

8(日)

プログラム C

10:00-12:30

『ぼのぼの クモモの木のこと』2002/61分

監督：クマガイコウキ 監修：いがらしみきお
脚本：いがらしみきお・クマガイコウキ

〜ぼのぼのの森の、いちばん高い丘。
そこに立つクモモの木には不思議な力があつた。
その木の下に座ると、悲しいことや苦しいことを忘れることができるのだ。〜



大切に飼っていたゴケトリ虫に逃げられたぼのぼのは、その悲しみを忘れようとクモモの木に向かい、その木の下でフェレットの子供ポポと出会う。ポポは毎日クモモの木の下で自分を迎えに来てくれる誰かを待っていた。自然と仲良しになるポポとぼのぼのたち。しかしポポの父親が亡くなった日、クモモの木も落雷で燃え、クモモの木のうひとつのフシギな力があきらかになるのだった……。



トークb いがらしみきお(漫画家)×伊藤明博(竹書房)×豊嶋勇作(*1)×毛利陽一(*2)

漫 画家いがらしみきおは、クマガイが心から師と仰ぎ、息のあったパディーを組んできた仲で話題は尽きない。代表作・アニメ映画『ぼのぼの クモモの木のこと』の製作秘話に留まらず、(有)アイ・エム・オー製作の漫画やアニメを共に作ってきた関係者が、今だから語るクマガイコウキとは……。



いがらしみきお

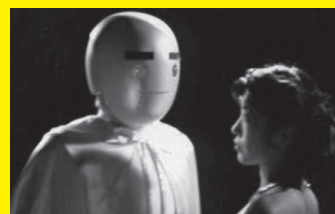
*1 デジタル・フロンティア代表取締役社長 兼 COO

*2 デジタル・フロンティアCGディレクター

プログラム D

13:30-16:00

『大感傷仮面』1992/65分 監督：クマガイコウキ 製作：いがらしみきお



泣く“大感傷仮面”に変身する冴えない改造人間が無敵のヒーローへと成長していく姿を描くドラマ。(16ミリ)

トークc 常本琢招(*3)×渡部ギユウ(*4)×大平伸一(*5)

2人の映画監督クマガイと常本。中央の映画界に飛び込んだ常本に対し、仙台に残ったクマガイは羨望の気持ちも抱えつつ映画作りへの情熱も秘めていたという。いがらしみきおの製作で『大感傷仮面』が撮影できることになったとき、クマガイは常本に監督補を託し現場をリードしてもらったのだが、一方で仙台のスタッフにこだわり、当時この撮影には仙台に潜在していた映画少年が大集結したのだった。その幻の作品を再上映。関係者よ、みんな集まれ!



渡部ギユウ

*3『大感傷仮面』監督補

*4『大感傷仮面』主演俳優／俳優・一社東北えびず代表理事

*5『大感傷仮面』プロデューサー／映像作家

『ぼのぼの』もやってくるよ
写真撮影OKです!



※プログラムの間に、仙台では放映されていないテレビアニメ版「ぼのぼの」から、クマガイコウキ脚本の5本を上映します。

#89 どうしてぶつかるんだろう #93 まっちゃんおじさんのヒミツ
#128 ポクが見えないとき #135 ポポくんの挑戦 #394 ポポくんの進化